



## 防犯機器搭載タクシー (タクパト)の普及について

「タクパト」とは、ドライブレコーダーや通信機能を持たせた車載コンピュターシステムを搭載したタクシーのことで、運転手が事件・事故に遭遇した際に、タブレットの画面をワンタッチするだけで画像や位置情報を県警に通報することができます。

走行中に不審者などを発見した際にもワンタッチで位置情報を通報することができるため、県警への事件・事故の通報の迅速化が図られるほか、犯罪を未然に防ぐ効果も期待できます。また、「タクパト」全車両のドライブレコーダー画像を一元管理しており、県警から要望があった場合には、事件が発生した現場付近を走行した「タクパト」のドライブレコーダー画像を迅速に提供し、早期の事件の捜査に寄与することができま

す。沖縄県ハイヤー・タクシー協会の協力のもと、令和4年12月末時点で、県内タクシーの約7割がタクパトとして運行しています。

また、沖縄総合事務局では、沖縄  
お問合せ先  
総務部 安心・安全対策推進官  
☎098-866-0066



▲タクパトに掲示されるステッカー



▲システム搭載のタクパト車内



▲ワンタッチで通報可能

県における犯罪抑止対策の一環として、沖縄・地域安全パトロール隊による防犯パトロール(青パト)を実施しています。これからも関係機関と連携し「青パト」と「タクパト」が沖縄県の犯罪防止対策に最大限の効果を挙げるよう努めてまいります。



## 船員の特定最低賃金が改正されます ～内航鋼船1,000円、 海上旅客1,000円引き上げ～

令和4年12月15日(木)、沖縄地方交通審議会(会長 上原 義信)から沖縄総合事務局長(田中 愛智朗)に対して「沖縄内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金」、「沖縄海上旅客運送業最低賃金」の改正に関する答申が行われました。これを受け船員の最低賃金において答申どおりの改正を決定し、令和5年4月上旬に発効する予定です。

船員の最低賃金は、最低賃金法の特例規定により、業種・航行区域・総トン数の区分別に国土交通大臣又は地方運輸局長等により月額で決定されます。沖縄管内適用分(当局長決定)としては、「内航鋼船」、「海上旅客」の2業種であり、職員(船長や機関長等の役職のある者)、部員(職員以外)それぞれの職種毎に設定されています。改正後の最低賃金額は表のとおりです。

なお、大臣決定の最低賃金は、内航鋼船および海上旅客ともに令和5年2月19日(日)から改正発効され、局長等決定の最低賃金は各地方運輸局等において改正が予定されています。

沖縄総合事務局長決定に係る船員最低賃金【発効日:令和5年4月上旬予定】(すべて月額)

業 種 別	職 種 等	最低賃金額 (改正前の額)	引き上げ額 (増加率)
沖縄内航鋼船運航業及び 木船運航業	職員	251,750円 (250,750円)	1,000円 (0.40%)
	若年職員(特定の養成施設課程を 修了し勤務期間が短い者)	235,300円 (234,300円)	1,000円 (0.43%)
	部員	193,150円 (192,150円)	1,000円 (0.52%)
	部員(海上経歴3年未満)	183,850円 (182,850円)	1,000円 (0.55%)
沖縄海上旅客運送業	職員	248,350円 (247,350円)	1,000円 (0.4%)
	部員	186,900円 (185,900円)	1,000円 (0.54%)

お問合せ先  
運輸部 船舶船員課  
☎098-866-1838